



DOCOMO TEAM DANDELION RACING Team Release

決勝レポート

2025/5/18 Rd-5 AUTOPOLIS

天候：曇り 気温：16℃ 出走台数：22 台

観客数：17 日(土) 5,000 人 18 日(日) 8,800 人 合計 13,800 人

午前中に行われた予選に続いて開催された第 5 戦決勝。

決勝前のフリー走行では小雨も感じられ、強く冷たい北風のなかスタートを迎えた。

13 番グリッドスタートの牧野選手は素晴らしいスタートを決め、4 台をパスし 9 番手でオープニングラップを周回。翌周には 8 番手までポジションを上げる。

一方、8 番グリッドスタートの太田選手は、スタート時ホイールスピンの多かった影響か、アンチストールモードに入ってしまう 18 番手まで順位を落としてしまう。

今大会は、ピットウインドウ設定無のため、1 周目からタイヤ交換の義務を消化することが出来るレースフォーマット。牧野選手とチームは、3 周目にピットインし、ピットイン組の首位でレース後半へ向けてアタックモードで好ラップを連発する。

後方から追い上げる太田選手は、集団の中で自分のペースで走行できず、12 周目にピットイン。

上位グループがピット作業を済ませた直後の 20 周目、グラベルストップ車両発生のためセーフティーカーが導入された。この時点で牧野選手は 4 番手、太田選手は 16 番手。

25 周目にリスタートが切られ、牧野選手はフレッシュタイヤのステイアウト組に攻略を許すも、粘りのレースで 6 位入賞。太田選手は 13 位でレースを終えた。

5：牧野任祐 選手 6 位

スタートが決まり、その後のペースもよかったので、リスクを取って早目のピットインをしました。レース後半はタイヤパフォーマンスも落ちてくる中で厳しいレースになりました。後半セーフティーカーが導入されたこともありましたが、それがなくても順位は変わらなかったかなと思います。

ポイント獲得でき、予選順位を考えればダメージを最小限にとどめることは出来たと思います。検証を進めなければいけない課題もわかりましたから、6 月の富士テストで取り組みたいと思います。

6：太田格之進 選手 13 位

スタート時のホイールスピンの関係か、アンチストールが介入してしまい大きく順位を落とすことになってしまいました。前車の乱流と抜きづらいコースレイアウトもあり、集団の中でのペースアップが難しかったです。

今回オートポリスにおいては、私たちの戦闘力はあまりなく、課題と改善点を残すレースになりました。チームとしっかりとデータを整理してシーズン後半戦に臨みます。